



カフェマスターからの発表



全体トーク討議の様子



シール投票

<基本目標1：定住する若い世代をふやす>

タイトル（キーワード）	参加者の発言
基本目標	
30～40代に特化し究極のベッドタウンを目指す	<ul style="list-style-type: none"> 20代からだ学生も含む。モラルが身につけていない学生が町を往来することで市のイメージダウンになることは避けたい。 ⇒住民の質がいいという意味で、<u>市のイメージアップをはかりたい</u>。 同じく外国人の定住についても、20代からの幅では心配。 <u>30～40代の子育てしやすさを追求する</u>。 大都市の隣という強みを活かし究極のベッドタウンを目指すべき。●
数値目標	
意見聴取のターゲットを絞り込む	<ul style="list-style-type: none"> 20代～30代という幅で若い世代をとらえるのではなく、現役子育て世代という枠組みに限定して調査する。
休日滞在人口を指標とする	<ul style="list-style-type: none"> 市外の方も、市在住の方も、双方の休日滞在人口を測る。 どの世代が休日にいるかを測ることで、住みやすさを測れるのはいか。
施策の基本的方向 「(外部プロデューサーを呼び込むなどをして) 清須の価値にストーリー性を持たせアイデンティティをつくる」●●●●●●	
留学などのしやすい環境を整備する	<ul style="list-style-type: none"> 姉妹都市を活用したり、留学生の受け入れで町づくりや、清須の歴史を伝える機会とする。 大学を誘致する？
工業・商業施設を整備する	<ul style="list-style-type: none"> きれいなショッピングモールなど、市の質が向上するような商業施設をつくといい。 工場は文化的な製造業を誘致する方向にシフトする。
景観統一と市民の美意識の向上により住環境の質を高める	<ul style="list-style-type: none"> 街灯一つにしても、例えば若い方のデザインを公募するなどして、視覚的にも<u>市の事業の統一化</u>を図る。 建物をたてる際の基準にも一定の質を担保させる。そこに補助を出す。 市内にゴミがないなどでも町のイメージは大きく変わる。 他の町と比べて少し質を高めて初めて「良い」という実感は味わえるもの。見た目だけの話ではないけれど、方向性が定まっていることが大事。
保育園利用にまつわるニーズの充足と制度化の準備	<ul style="list-style-type: none"> 保育園の保育料無償化の話題はあるが、産前産後が2か月しか入れないというのは期間的に少ない。● 産前産後2か月をせめて一年に増やし、上の子の居場所の環境を変えない工夫をする（保育園から幼稚園に変わるなどは子にも酷）。

	<p>→上の子が保育園に入っている状態で育休を取ると、上の子が退園しなくてはならない矛盾がある（産後2か月で上の子も自宅に居るのは大変なこと）。</p> <p>→その制度のために上の子は幼稚園、下の子は保育園となったりして、雨の中、カッパを着て自転車で通って等、両園に通わせる母子を見ると泣けてくるような状況。</p> <p>→収入ゼロの状態では500円も負担なので、ファミリーサポートセンターは利用する人がいない。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 保育園の数（先生の数）というのも大事だが、ソフトなサポートと両方あることが大事。
乳幼児はもちろん！学童期の子どもの育つ環境を向上させる	<ul style="list-style-type: none"> • 部活動をなくす方向の名古屋に対し、例えば逆を行って部活動のある利点を活かすなど、<u>子育て環境で他市町との差別化を図る</u>。● →部活ではなく、稲沢のように放課後に先生が勉強をサポートするなどの差別化もある。 • 児童の遊ぶ場の確保や参加できるイベントの充実など、学童期の子の参画度を上げる。 • 夏休みの居場所を確保する。 →清洲小学校は全校1千人。児童館は古く、学校の夏季学童は子どもだらけになってしまう。
KPI	
住居の供給をニーズにマッチさせる（UR住宅の家賃補助などの周知）	<ul style="list-style-type: none"> • 流入人口を増やしたいが、市営住宅を作るのは大変なので、<u>UR賃貸住宅の数と若い世代の定住率を測る</u>。
世帯年収の向上を測る	<ul style="list-style-type: none"> • 特に世帯年収のうちの教育費にける割合を測ることで、清須の子育てしやすさ、住みやすさを測る。
人口構成の捉え方	<ul style="list-style-type: none"> • 人口数でみるのではなく、市民のうちの30～40代の割合の変遷を測る。
子育て環境の満足度をハードとソフトの両面から高める	<ul style="list-style-type: none"> • 保育園利用者のアンケートをした上で数値目標を立てる。● • 放課後子ども教室の時間を17時～19時（少なくとも18時）にすることで、定時で働く親のサポートを図る。 • 放課後子ども教室のスタッフに幅を持たせ人材確保をする。 • 待機児童の測り方に、年度途中者の数も入れる。 • 学童の数の伸び率を測る。 • 子どもの遊び場として小学校の開放率を上げる。 • 地域の体育祭の参加率を測ったり、地区を超えた開催による交流があるかどうかを指標とする。 • 放課後子ども教室と放課後児童クラブの横断的利用を可能にする。

<p>学童期の子の地域活動に父親がかかわる清須を目指す</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 子ども会の数を指標にする？子ども会の親満足度を測るといいのではないか？役員の人間関係が和気あいあいとしているといい。 →上手に運営するコーディネーター（プロデューサー）が養成されているといい。 • 子ども会の（役員）の父親率を測る。
<p>まとめ</p> <p>若い世代の定住を増やすために、30～40代の子育て世代のニーズと動向を以下のような視点でおさえる。</p> <p>① 子育て支援については、乳幼児期は制度のはざままで苦しむ親子の救済的な措置と実体験に基づくサポート体制の充実化、学童期は“父親がかかわる清須”というイメージで、父親が子ども会等（子にまつわる地域活動）に参画しやすい雰囲気づくりと、その仕組みをつくるという視点</p> <p>② 他市町に比べて少し質の高い文化的な設備、工業、住環境を目指し、市の事業の独自性と統一性をもたせるという視点</p>	

<基本目標②：市の「強み」を生かして経済効果を生む>

タイトル（キーワード）	参加者の発言
<p>基本目標</p>	
<p>清須の「強み」とは何か</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 清須の強みは、歴史、名古屋に近い、水辺の環境の3つだと思う。 • 清須には「強み」はあっても、「強み」の「質」が悪い。 • 「強み」の中に、地域産品が入っていない。宮重大根など。 • 地域産品の特徴のアピールの仕方が下手。 • 地域産品のことは、旧町内でしか広まっていないようで、清須市全域の産品の意識がない。 • 広報を通じて、旧町内でしか知られていない強みを、市の強みにしていく努力が必要だと感じる。●●
<p>道路の交通利便性は弱み？</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 鉄道駅は多くても、道路による交通は不便。● • 新川の仮橋はなぜ仮橋のままなのか。
<p>数値目標</p>	
<p>表現が堅い</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 数値目標がわかりにくい。堅い。
<p>創業した後は？</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 「創業件数」という、新規立ち上げだけで良いのだろうか。 • 創業しても、すぐに倒れては意味がない。継続的に経営できることにしても目標値があってもよいのではないか。
<p>資金が市域外へ流出しない環境の指標</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 清須市民の市内就業者数と市外就業者数のデータをとり、比較してはどうか。

施策の基本的方向	
全体的な方向性について	<ul style="list-style-type: none"> • 近隣の市町と同レベルの取り組みではだめだと思ふ。 • 我々の子どもや孫の世代によくなればよい。そういう長期的な視野で施策を打ってほしい。● • 足し算の施策ではなく、掛け算の効果がはたらく施策に。
創業支援	<ul style="list-style-type: none"> • 清須での起業支援はよい。「仕事の地産地消」。 • 若い人の起業をサポートしてほしい。 • 春日には、まちづくりを行う中小企業診断士がいる。 • 子育てしながら働ける（子どもの近くで働ける）環境が増えてほしい。 • 「起業支援アプリ」を開発して、起業志望者同士をつなぐ場、情報交換の場として活用する。専門家や金融機関も加わり、アドバイスなどももらえるものに。
駅前のにぎわい	<ul style="list-style-type: none"> • 清須市内の駅は、どこも駅前がさびれている。どうかならないだろうか。せっかく観光に来た人も、駅前を見てがっかりするのでは。 • 稲沢市にある JR 清洲駅は、清須市民がよく使う駅。稲沢市と連携して、なんとか駅を改善できないだろうか。稲沢にも得になるような取り組みを、こちらから仕掛けるなどしてほしい。●●
駅から観光地までの道	<ul style="list-style-type: none"> • 観光面、物流面において、道路交通に関する計画性が乏しいように思える。 • イベントが市内であっても、足がないので気軽に行こうと思えない。住民でもそう思うのだから、観光に来る人はどうだろうか。 • 観光で経済効果を生むなら、観光客がお金を使いたくなる環境をつくる必要がある。 • 駅から観光地までの道を観光客にどう楽しんでもらうかは大事だと思う。魅力ある駅・道・店を作っていく。●●●●● • 最初は、マルシェのような移動店舗から始めるのも良いと思う。 • 別々の取り組みではなく総合的な取り組みが必要。 • 「まちなみ」として整備していく。
観光資源	<ul style="list-style-type: none"> • 清須の歴史遺産を、現代とつなげてアピールする。清須は、清須会議で武力ではなく話し合いで問題解決した舞台。ここで平和首長会議を開催する。 • 歴史遺産を、戦争ではなく平和をアピールするものに。● • 清須会議 • 市内で行う、観光ツアーや物産ツアー、遊びのツアーなどを企画するのもよいと思う。● • 清洲城から桶狭間までの「信長行路」を歩く企画（マラソンでもよいがそれは難しいだろう）。

あしがるバス	<ul style="list-style-type: none"> あしがるバスはよいルート設定をしていると思うので、もっと市民に利用してもらえるようにPRする。(KPI:あしがるバス利用率) 親子で乗って各施設や観光地を巡る体験試乗会を行う。 あしがるバスをもっと便利にするために、市民に意見をもらってルートを改善するのもよいと思う。
ダークツーリズムとしての東海豪雨	<ul style="list-style-type: none"> 東海豪雨を観光資源にする手もある(マイナスの遺産をプラスに転化する)。東海豪雨の関連資料をまとめた資料センターが現状ではない。都市型災害資料館として、「東海豪雨記念館」をつくる。(KPI:東海豪雨記念館を2020年に立ち上げ) 東海豪雨のPRは、防災意識を高めるためには良いと思うが、観光としてアピールするのはどうだろう。
川沿いの環境整備	<ul style="list-style-type: none"> 自然が豊かでも、川が汚ければ台無し。川を綺麗にする活動に本腰を。 新川の河畔をコンクリートではなく、自然的なものに。
製造品等の高付加価値化	<ul style="list-style-type: none"> 「歴史資源・観光資源」についての「市内における製造品等の高付加価値化」の意味がよくわからない。例えば「清洲城まんじゅう」や「〇〇細工」のような歴史を反映した新商品を開発するという意味なのか、市内の地域産品(大根やかぼちゃなど)を生かして高付加価値化をしていくという意味なのか。
経済の地域内循環のしかけづくり	<ul style="list-style-type: none"> エコマネー/地域通貨のような取り組みを考えてみてもよいのではないか。河川清掃のボランティア活動と、シャッター街化が進む商店街の活性化を目的に、地域通貨を発行し、運営する。運営母体は市と商工会。(KPI:エコマネーの発行枚数)
まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> 住みやすく、品の良いまちづくり。ベルサイユやポツダムのような、大都市近郊の穏やかで品のあるまちが参考になるのでは。
KPI	
創業支援	<ul style="list-style-type: none"> 起業セミナー参加者数 起業家数
観光資源の活用	<ul style="list-style-type: none"> 観光による人の出入りの指標があるとよいのだが……。
まとめ <ul style="list-style-type: none"> 「強み」の内容は、これでよいのか。 「強み」とされたものの現状を直視すると、清須の「弱み(道路の不便さ、駅前や道の景観とにぎわいの無さ、JR清洲駅が稲沢市)」が大いに絡んでくるので、総合的に取り組む必要があると思われる。 仕事の地産地消のためにも創業支援は大切。子や孫の代を見据えて取り組んでほしい。 製造品等の高付加価値化については、どんなものを指すのかが、あまりイメージできない。 	

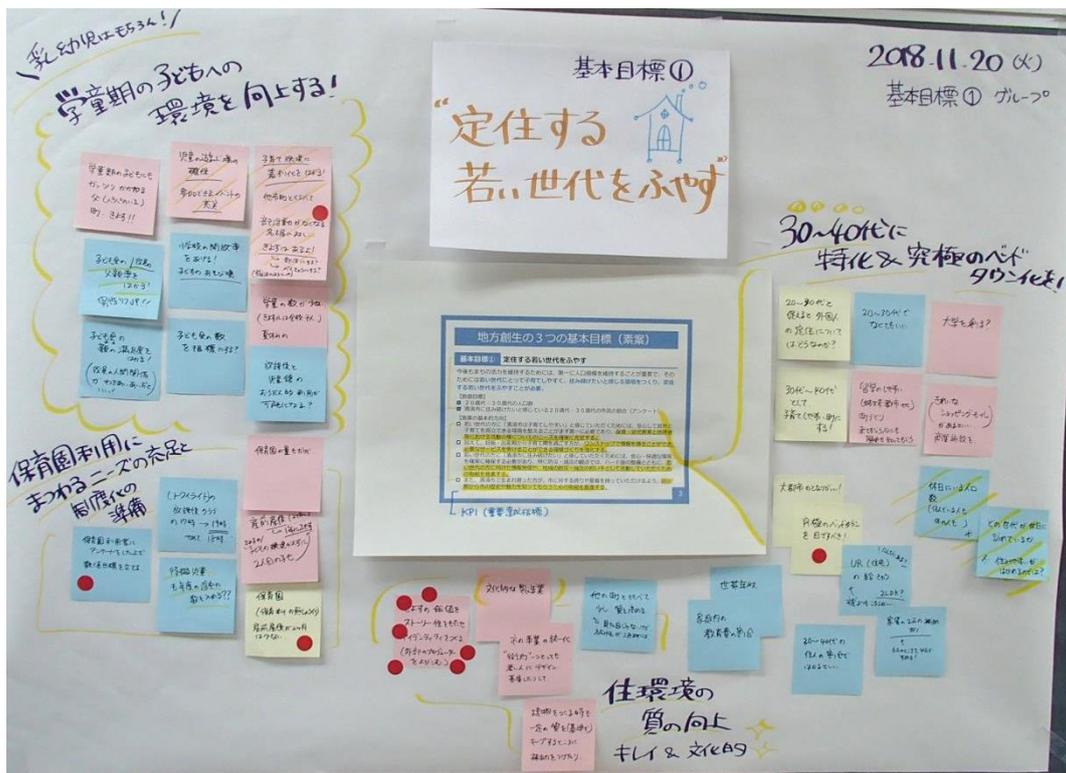
<基本目標3：人を育て・つなげて地域を活性化する>

タイトル（キーワード）	参加者の発言
基本目標	
市民も行政も、共に育ち、つなげ合う	<ul style="list-style-type: none"> 清須市役所が率先して、内部にプロデューサー的な人材を育て、各課をつなげられることが大事。 時代の流れに行政組織がついていけない気がする。
行政内部に実行するための体制、仕組みが必要	<ul style="list-style-type: none"> 基本目標3は、どの課が担当するのか？ 住民と行政の協働の場面では、担当職員の異動後に引継が十分でなく、せっかく築いてきたものがゼロに戻ってしまうことがある。このようなことが起こらないような仕組みが必要である 行政が担っている仕事を民営化したり、<u>ボランティア</u>にお願いしたりする。●●● 企業の方に市の職員として入ってもらうなど、<u>市役所内に人材の流れ</u>をつくってはどうか。●●
数値目標	
数値目標の前に、現状把握をしてはどうか。	<ul style="list-style-type: none"> 市民アンケートで、「地域の活動に参加している市民の割合」を聞く前に、<u>まず地域に有資格者など、どのような人がいるのかを把握することから始まる。</u> 「地域の活動」と言われるとイメージがしにくいので、具体的に、A群は地域の清掃、町内会活動、子ども会活動、B群はNPO活動、福祉活動など、大まかに分けて例示や選択をしてもらうと分かりやすい。
施策の基本的方向	
行政内外に、プロデューサーが必要	<ul style="list-style-type: none"> 同じような取り組みが幾つかの課で行われていたりするので、<u>各課の連携をとっていただきたい。縦割りをつなぐプロデューサーが市役所内に必要だ</u>と思う。 人を育て、つなげるプロデューサーづくりが必要。特に、<u>行政職員が現地に出向き、住民に混じって、人を育てる（育ちあう）</u>ことが大事。
市の職員の方も一緒に汗をかく	<ul style="list-style-type: none"> 市や地域で開催するイベントは土日開催が多い。市の職員が土日出勤できるように、シフトを組むなど工夫してほしい。 地域の方はボランティアになるので、市の職員の方も一緒に汗をかくてほしい。
「議会のライブ配信」からはじめよう！	<ul style="list-style-type: none"> 地域を担う人づくりは、今地域で何が問題となっているのか、市民がこれからどうしていこうとしているのかを知るところから始まる。 議会の内容を、市民が傍聴に行かなくても、インターネットを介して簡単に聞くことができるようにする。 SNS等を使えば、簡単に、無料でライブ配信、ラジオ配信ができる。

	<ul style="list-style-type: none"> • SNSを通じて、多くの市民が、市や地域の現状や目指すところ、具体的な取り組みなどを知ることができると、地域で活動することの必要性が分かるので、担い手が現れやすいし、多くの人理解と協力をしてくれやすくなる。 • 三権分立の考え方から、市民は行政ではなく、直接議会へその旨を伝えることが大事。
人をつなげるメディアをつくる	<ul style="list-style-type: none"> • まちと人と仕事をつなぐメディアとして、「コミュニティFM きよす」をつくろう。 • 市が直接情報発信をすると、情報漏洩等が心配されるため、上手く外部のSNSなどを使って情報発信するとよい。
本当に必要な情報を発信し続けることで、受信者を増やす	<ul style="list-style-type: none"> • 子どもが図書館のツイッターをフォローしている。図書館には勉強スペースがあるが、なかなか空いていないので、空いている時など、子どもが必要な情報を発信していて驚いた。 • 子ども達は、SNSを駆使して、必要な情報を入手することが上手い。
必要な情報を必要な人へ届ける	<ul style="list-style-type: none"> • 市からの情報発信は大きすぎて身近に感じない。自分の生活圏くらいの小さい地区で情報発信をすると、必要性を感じやすい。 • 市は、HPに各地区の情報発信のリンク集をつくるとよい。 • 市は、もっと気軽に頻繁に情報発信ができるように、権限を各課におろし、各課から発信するようにする。
地区の垣根を越えたイベントの実施	<ul style="list-style-type: none"> • 合併して一極集中になった気がする。地域が活性化するには、<u>地域や団体を越えたつながり</u>をつくることが大事。 • 4地区の代表チームが出場する市の大会を開催して交流を行ってはどうか。毎年、全チームが出場すると会場の問題や、運営が大変になるので、3年に1回くらい出場できるくらいが丁度良い。●●● • 地区を越えて交流し、互いに学び合えると良い。
KPI	
活動団体数	<ul style="list-style-type: none"> • 活動団体数がどのように変化するかを観る。
既にあり、計測しやすいツイッターを活用する	<ul style="list-style-type: none"> • 情報発信のKPIとして、ツイッターの発信数、リツイート数、フォロワー数を計測してはどうか。 • 市のツイッターは既にあるので、もっと活用すると良い。
まとめ <ol style="list-style-type: none"> ① 市民だけでなく、市民も行政も、共に育ち、つなげ合うことが大事。 ② 地域にどんな人がいるか、把握することから始まる。 ③ 市民、行政の中に核となるプロデューサー人材を養成し、その人を中心にネットワークを広げていく。 ④ 情報発信は、市民の代表である議会がリードして、議会をライブ配信することが望ましい。 	

- ⑤ 必要な情報が必要な人に届くように、ツイッターの発信元は課単位、地区単位など小分けにし、市全体はHPでそれらのリンクを紹介するくらいで良いのではないか。
- ⑥ 地区や団体の垣根を越えてつながるために、4地区の代表が出る市のイベントを実施する。

この他、具体的な事業提案や地域資源をPRした情報誌など、参考となる情報をいただきました。どうもありがとうございました。



【基本目標①：定住する若い世代をふやす】カフェの模造紙



【基本目標②：市の「強み」を生かして経済効果を生む】カフェの模造紙



【基本目標③：人を育て・つなげて地域を活性化させる】カフェの模造紙

<「つながり」が大切！！>

- 3日間参加し、本日感じたのは、やはり「市民のつながり」である。このような場では、必ず、旧4町が話題にあがる。こうやって今まで全くお会いしたことがない方と話をすることでも「つながり」だと思う。今後も「つながり」を大切にしたい。
- 行政が各地区・ブロックに出向いて分かり合い、つながりが持てるとよりよい市になると思う。

<清須の良さは、そのままに>

- 役所の方に誘われ、軽い気持ちで参加した。生まれて45年、新川地区で育ち、正直、あまり変わってほしくないが、子どもの頃の原風景はまったくない状態である。住みやすさのために行政も対応しなければいけないのは理解している。
今回参加してみて、皆さんが、自分の想像以上に清須のことを考えていることには驚いた。
- 春日でカフェをやっている。川沿いで、とてもいい環境である。この環境は残しつつ、清須市が盛り上がれば良い。
- 私は清須市が地元ではないが、清須市は、子育てがしやすいまちだと実感している。近くに行けばカエルがいたり、新幹線が走っていたり、入園前の子どもが通える施設や親子で遊べる場所があったり、本当に子育てがしやすかった。これから清須がどうなっていくのか、楽しみにしている。
- 3回のうち2回しか参加することが出来なかったが、皆さんの清須市に対する熱い思いを知ることができて、非常に有意義な時間だった。
私は、生まれも育ちも清須市だが、若者時代に10年間、清須を離れ、戻ってきてからは15年が経過した。清須に戻った当初は、何も思いはなかったが、戻ってきてみると、外に出なくとも、ここがいいなという思いになった。
離れていた間にいろいろなことが変化し、それは市役所をはじめ、皆さんの力のおかげである。ここに集まった15人の皆さんだけでも、こんなに熱い思いを持っているので、清須市民の総力を合わせれば、力が何倍にもなるのではないかと感じる2日間だった。

<正負の遺産を活かして、未来を創ろう！>

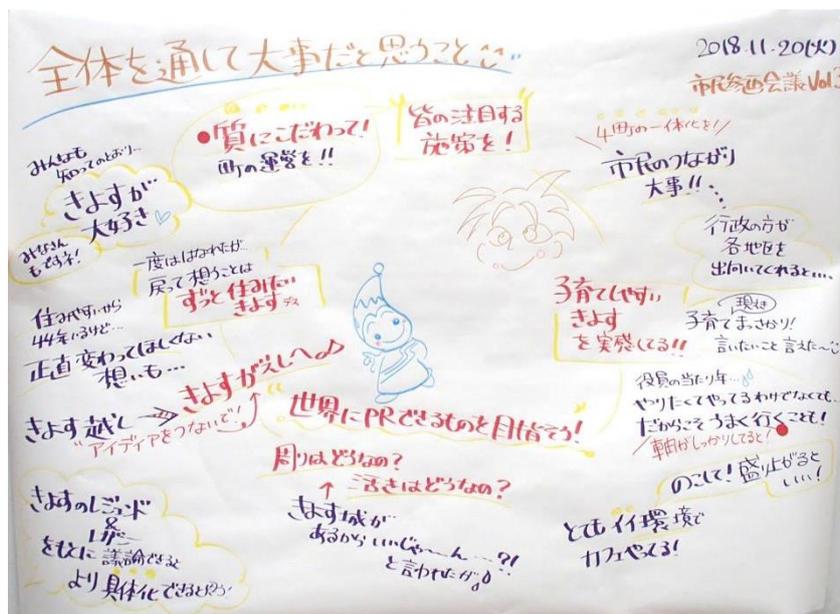
- 清須というまちには、2400年前の朝日遺跡から今日まで、プラスの遺産とマイナスの遺産がある。それらを考えるとともに、これからの清須を取りまく社会環境がどのように変化し、チャンスやリスクになり得るかを考えると、具体的な話がしやすいと思い資料を用意した。参考にしてほしい。
- 清須越以前は、朝鮮通信使の記録にも「関東の巨鎮」と称され、清須はすばらしいまちだと讃えられたが、1610年の家康の一言で、「ヒト・モノ・カネ」がすべて名古屋に行ってしまった。それ以降、苦労を重ね、今がある。今度は、僕自身、そして皆さんから出たアイデアをつないで、「清須越し」から「清須帰し」に、清須市から出ていってしまったものを取り戻すキャンペーンを、市の職員・我々・企業が力を合わせて行くと良いのでは。

<魅せ方は大事！>

- 先日、県の関係で、ボランティアとして『レベルアップセミナー』に参加する機会があった。他の参加者から「清須市いいね。清洲城があるじゃない。」と言われた。城そのものは良いが、その周辺はどうなのかと疑問に感じ、もっと活力・活気が欲しいと思った。2027年にはリニアが開通し、東京まで1時間でいける場所は、名古屋市の周辺都市では、清須市しかないはず。その観点からすると、すごく魅力ある市である。そのためにも、清須市が日本だけでなく世界にも羽ばたくようにPRをすべきである。
- どの市でも、魅せ方に悩んでいると思う。みんなが注目するような政策をとってほしい。

<ざっくばらんな対話は、楽しく有意義！>

- 日頃、子育てをしていて思うことをざっくばらんに話すことができ、有意義な会だった。
- 私は本当に清須が好きだが、普段は、なかなか清須について話す機会がない。会議の場で、皆さん初めは言葉少なく不安に思ったが、こうして議論を重ねると、誰もが笑顔で「こうしたい」「ああしたい」と言ってくださるので嬉しかった。私としては、清須市役所の皆さんも頑張ってくださいていると感じている。正直に言うと、清須市は、一般的なまちと同じサービスを提供しているため、特別魅力があるまちではない。他地域と同じようにやるのではなく、「質」を上げることが大事。
- 今年は役員の当たり年であった。子ども会役員、小学校 PTA 役員、地域のスポーツ少年団役員、マンションの役員を兼ねるなか、この会議のお話をもらった。ついでのつもりで、なにひとつ積極的には参加していないが、会にて、わいわいと話すことは好きだった。子ども会の集まりでも、自主的にやっている人はいないが、場に出ていき、楽しくやろうと取り組んでいくことで、本当に楽しい会へと発展する。逆に、やりたいばかりの人が集まると、方向性がばらばらになり、上手くいかないことが多い。ある程度軸があって、みんなで協力する体制がいいのだと思う。楽しい会だった。



【全体トーク】

1. 本日の議論を通じて改めて感じたこと、言い残したこと等がございましたらお書きください。

<これからの清須>

- 議論の後、清須市に道の駅ができたかと尋ねたら、西枇杷島にあると返ってきた。小さいらしい。どんな駅なのか。
- 市が投資をして経済活性の基盤を作る→若い世代が起業できるチャンスがある。主婦層がビジネスできるチャンスをつかむ。→一定住する！！みたいな流れが理想的だと思いました。
- 日本国内に於いて、他地域（他県）にない、特色ある目玉となる産業・商業などの施設（すべての分野）の誘致。
- 「清須越し」から「清須帰し」はとても良い案だと思いました。愛知県の重要な部分を清須市に！！他の市がやっていることをまねするのではなく、やっていない事で清須だから出来る事を押し進めて行って欲しいです。

<住みやすいまち、清須>

- 清須市は現状に皆さん満足されていると感じました。住みやすい「まち」になってほしいと思います。
- 長い目で見ると、自然豊かな今のままの清須市であって欲しい。都会は都会の良さ、田舎は田舎の良さがあると思うので、都会化せず、整備などが行き届くと良いと思います。
- 清須市に住んでまだ10年ほどですが、とても住みやすいまちだと思います。さらに住みやすくしていくために頑張ってもらいたいと思います。ありがとうございました。

<熱意ある議論でした！>

- 庄内・新川・五条の三川とJR・名鉄等の鉄道で分断された、まとまりがなかなかできない清須を「つなげる」粘り強い熱意を15人の方から聞いたことが良かったですね。フレッシュなアタマの体操になりました。
- 清須が好きであることをつくづく感じさせられました。何をやるにしても、他自治体より魅力や差別化を感じさせる質の高い事業・施策が必要であると感じました。
- テーマが難しく、細かな意見や要望は出ても、具体的な施策や目標につながるような、有意義な議論が本当に出来たかな？と思いました。それでも皆様の清須に対する熱い思いはひしひしと伝わってきました。
- 三日間ありがとうございました。ガンバレ清須市、ガンバレ清須市民。

2. 本日の満足度を100点満点で表現すると何点ですか。その理由や改善点もお書きください。

(1) ご自分（個人）に対して

- 100点
- 90点
- 80点

- 70点 いろんな意見を聞け、また話すことができました。
- 70点
- 60点 遅刻をしてでも参加できたことに得点。
- 60点 提案するネタが少なかった。
- 60点 なかなか自分の意見を出し切れなかった気もするので。
- 50点 簡単に考えられず、あまり意見できず。
- 50点 年齢的に？批判的になりがち・・・
- 50点 なかなか良いアイデアが出なかった。
- 一点

(2) グループ・全体に対して

- 100点
- 90点 全員がそれぞれの見方で前向きな意見が出た。
- 90点 みな熱く語っていただき、清須が好きであると感じました。
- 85点
- 80点 論点が広がったカフェがあり、広い意見が聞けた。
- 80点 3回目なので、ざっくばらんな意見が出てとても有意義でした。
- 80点 皆様本当に熱心ですばらしい。
- 80点
- 80点
- 50点 考え込む時間が多々あった。議論深まらず！！
- 一点 何についても軽やかな空気の中、討議させてもらえました。沢山の興味深いものも
 できていました。私は聞くばかり・・・。
- 一点

(3) ファシリテーター・事務局に対して

- 100点 まとめにくいところをよく交通整理してくださいました。
- 100点
- 100点
- 95点 一生懸命にリードしていただき、ありがとうございました。
- 90点 事前の準備もよくできていたし、進行もよかった。
- 90点 とても聞き上手で話しやすかったです。
- 90点
- 85点
- 80点 笑顔で意見が出しやすい場づくり。
- 80点 とりとめもない意見ばかりでも、うまくまとめられると思いました。
- 50点 ちょっと議題が難化したので、前回、前々回よりも引き出しがうまくいかなかった
 ような気がする。
- 一点 すてき。

3. その他、ご意見、ご感想等ご自由にお書きください。

- 楽しく議論できたと思います。行政の一端に触れることができ、刺激を受けました。
- リラックスして話しをする事ができました。ありがとうございました。
- 企画課に新しく・・・?すごい!! 変わる気が。変わる・・・と思いました。
- 私がこの会に参画したということができたのは、子供たちを含め家族や職場の協力があったことです。参加者の姿だけでなく、そのうしろにも目を向けていただきたいです。
- 参加者名簿があっても良いのでは。個人情報観点から募集時に明記して・・・
- 語り合った皆さん、街なかで会ったら声をかけてください。(お互いにグッドラック)
- 参加させていただき、ありがとうございました。
- 3日間ありがとうございました。
- 3回の会議とても楽しく参加させていただきました。ありがとうございました。